

MD050_SPF_COI_017 入出庫情報配信	説明: 対象倉庫のロット別入出庫情報をワークフロー形式で配信します	作成日	2016/08/04	作成者	SCSK 山下	更新日	2016/08/04	更新者	SCSK 山下	Ver.	Issue1.0
---------------------------	-----------------------------------	-----	------------	-----	---------	-----	------------	-----	---------	------	----------

処理概要

対象倉庫のロット別入出庫情報をCSV形式で出力し、ワークフローを使用して宛先に登録されたユーザーへ連携します

システム利用者

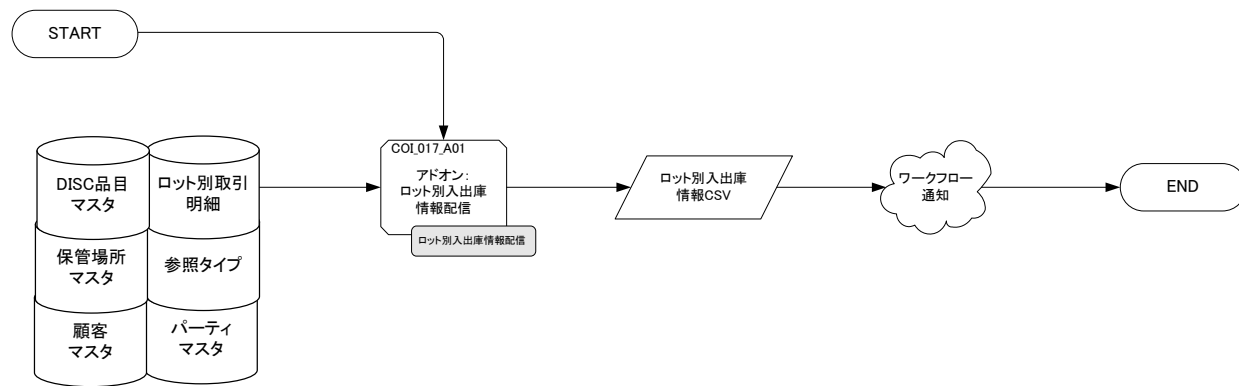
倉庫管理担当者

処理タイミング、その他

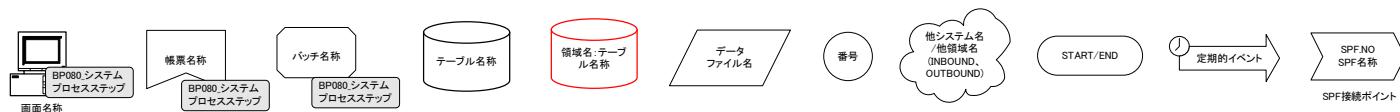
随時実行

ワークフロー 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COI017 入出庫情報配信	説明: 対象倉庫のロット別出荷情報をワークフロー形式で配信します	作成日	2016/08/04	作成者	SCSK 山下	更新日	2016/08/04	更新者	SCSK 山下	Ver.	Issue1.0
--------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	---------	-----	------------	-----	---------	------	----------

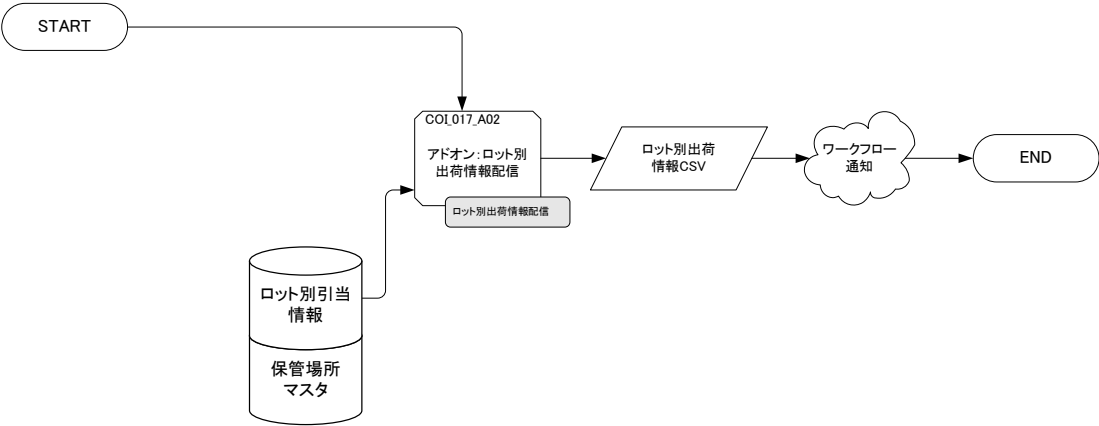
処理概要
対象倉庫のロット別出荷情報をCSV形式で出力し、ワークフローを使用して宛先に登録されたユーザーへ連携します

システム利用者
倉庫管理担当者

処理タイミング、その他
随時実行

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

